

第28回

一般社団法人日本死の臨床研究会

中部支部大会

日本死の臨床研究会では、死の臨床にあるその人と家族に最適な援助を目的に、教育・研究をおこなっております。今回、森田先生をお迎えし患者さんと家族へのコミュニケーションについてご講演いただきます。日常のケアのお役に立つよう企画しました。ぜひご参加ください。

日時

2024年 4月21日(日)

受付開始 10:00

会場

じゅうろくプラザ

〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1-10-11 中会議室2

大会長

西村 幸祐

岐北厚生病院 緩和ケアセンター

澤井 美穂

東海中央病院

定員/参加費

90名

● 会員 1,000円

● 非会員 2,000円

*現地でお支払いください

申し込み

申込フォームまたはFAXにてお申し込みください。

【申込締切】4月14日(日)

※但し、定員になり次第締切

● 申込フォーム:

<https://forms.gle/LYuVCYFELdd79TjZ8>



● FAX:0581-22-3512

(岐北厚生病院 緩和ケアセンター)

①お名前 ②ご連絡先(電話/メール) ③ご所属

④会員・非会員

※上記を記載の上、お申し込みください。

第一部 事例検討 10:30~12:00

総会 13:30~14:00

第二部 特別講演 14:00~16:00

患者と家族の体験を知ろうとすること

—困難な時のコミュニケーション—

演者 聖隷三方原病院緩和支援診療科
副院長 森田 達也 氏

【講師紹介】

1992年に京都大学を卒業後、聖隷三方原病院で初期研修。その後、ホスピス病棟、在宅診療での主治医経験を10年、2005年より緩和支援診療科・緩和ケアチームとして「時期にかかわらず」苦痛緩和に携わる。

2007年からは、さらに地域緩和ケア普及のためのOPTIMプロジェクトを多くの協力者を得て実施。

多施設臨床研究を推進して学問として緩和医学の向上にも努めている。「混とんとして何をどうしていいかわからない領域」「まだだれも取り掛かっていない領域」の臨床的な疑問が解きほぐされるような研究を課題としている。また、患者・家族の体験を知るための研究も進めている。

座右の銘:「一隅を照らす」

